

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ハッピーテラス桂教室		公表日		R7年2月19日	
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点	
		はい	いいえ				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		職員で活動内容を話し合い、スペースを確保しております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		2名の児童指導員を配置する基準に対して、常に児童指導員3名以上を配置しております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		教室内には不要な段差をなくし、トイレには手すりも設置しております。どなたでも安心して利用して頂けるように環境を整えております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		営業終了後、毎日掃除をしております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		必要に応じて相談室を個別で使えるようにしております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	毎月社員ミーティングを行い、スタッフ全員で前月の振り返りや利用者様についての情報共有を実施し、現在の課題を共有し目標を立て改善にあたっています。利用者様と保護者様への支援も日々共有し、スタッフ全員が把握できるように努めております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎年年末に保護者様向けにガイドラインに沿ったアンケートを実施し、その結果をスタッフ全員に共有し、教室運営に反映させております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		日々のミーティングや教室会議で意見交換を行っております。また、常勤スタッフとは2ヶ月に1回、1対1でミーティングをしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8			現在、第3者による外部評価は受けておりません。今後の検討課題としています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		全ての指導員が外部で実施される研修会等に参加できる機会を設けております。研修で得た知識は指導員間に共有できるよう定期的に社内でも勉強会を実施しております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		ハッピーテラスが独自開発したアセスメントツールを使用して、保護者様と指導員で利用者様についてモニタリングを実施しております。アセスメントツールの結果と保護者様との面談内容を指導員間でも検討し、個別支援計画に反映させております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		個別支援計画書作成の際にケース会議を開催しております。また、その都度ケース会議の実施や、話し合いの場を設けております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		すべての職員に共有しております。またその日のミーティングで計画についての支援について話し合う時間を設けています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		子どもの状況を、利用時にアセスメントとして記録しております。日々の行動観察はシステム上に記録しております。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		今年度より設定しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	イベントは話し合いで決定しております。トレーニングはその日の担当者を決め担当者中心に考案し、必要に応じて相談しております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		週間でのテーマを決めており、活動プログラムが固定化しないように工夫しております。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		利用者様の課題に合わせて、個別作業が多いプログラムや、集団で協力して取り組むプログラムなどを組み合わせ、計画を作成しております。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		利用者様の受け入れ時間前にその日のプログラム内容を打ち合わせ、利用者様個々に合わせた対応ができるよう、役割分担や流れを情報共有しております。		
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	支援終了後は支援の振り返りしながら、利用者様のその日一日の教室内での様子などを可能な限り共有し、今後の支援の改善に努めております。しかし、スタッフが早く退勤することもあるのでその際はデータ上での共有をしております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		利用者様それぞれに設定している目標に対する評価は毎日記録を取っております。また、2ヶ月から3ヶ月に一度、記録をまとめて評価を作成し、保護者様へお渡ししております。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年以内に一回以上保護者様と指導員でモニタリングを実施しております。その際に利用者様の成長度合いを共有し、新しい計画を作成しております。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		「4つの基本活動」を念頭に置き、複数組み合わせ支援を行っております。		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	8		自由時間は自己選択できるような支援を行っております。		トレーニングやイベントにおいて自己決定できる力を育てる支援を増やす必要がある。

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		京都市ではセルフプランが普及しており、担当者会議が実施されることが少ないですが、担当者会議等が実施される際には、対象の利用者様と関わりが多い指導員と児発管が出席するようにしております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	必要に応じて連携しております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		学校とは電話やFAXを通じて連絡調整を行っております。また、保護者様に承諾を頂いた上で、利用者様の様子について定期的なカンファレンスを行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めているか。	6	2	保護者様の同意を得た上で、各施設との連携を図っております。また、学区内の子育て連絡会等で施設の方と交流できる際には、利用者様の近況について情報共有しております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		障害福祉サービス事業所等へ移行する場合は、それまでの支援内容等の情報を提供したり、移行先の見学をしたりしております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	直接の助言等はありませんが、専門機関主催の研修等には積極的に参加しております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		週1回当教室で、書道教室をしております。その際は、地域のこどもたちと一緒に活動を行っております。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		桂東学区子育て支援連絡会に加えていただき、移動動物園や乳幼児対象のイベントのお手伝いをさせていただいております。また、京都西部地域児童部会へ積極的に参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		保護者様が送迎される場合は直接口頭でその日の様子をお伝えしております。また、気になることがあれば保護者様に電話連絡や書面でこどもの様子の振り返りを渡しております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		ご希望の保護者様には、指導員が参加しました研修内容の共有をしたり、研修を紹介したりしております。対面できる機会が少ない保護者様にはその都度電話やお便りをお渡ししております。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時にスタッフによる説明を行っております。丁寧な説明を心がけております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		モニタリングでご家族の意向を確認しております。また、中高生にはモニタリングの機会を設けております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		計画作成後、保護者様に直接お話をしてお話をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		相談を受けた場合には、その内容を一度指導員で情報共有し、検討した後に助言するように努めております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		昨年六月には保護者様もご参加いただける性教育に関する研修会を実施いたしました。今後も保護者様のご意見を窺いながら、回数を増やしたり、形式を変えたり等の工夫をしています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情については迅速かつ適切に対処するよう努力しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月会報「はっぴい通信」を発行し、その月の活動報告や次月のトレーニングテーマ、イベント案内等をお知らせしております。また、HPやSNSを通じて教室での様子の共有や連絡を取らせていただいております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の取り扱いに関する同意書を契約時に保護者様に確認し底させております。又、職員雇用の際には秘密保持誓約書の提出を義務付け、就業時は勿論退職後も機密事項を決して漏らさぬよう徹底しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		視覚優位、聴覚優位などの利用者様の特性を理解した上で、情報伝達の方法に配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	地域に開かれた事業を運営を目指しておりますが、地域の住民の方は招待できておりません。	今後検討して参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		マニュアルは策定しており、訓練も実施しております。	必要に応じて保護者様への周知を行う必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		4月には職員向けに防災器具や避難経路を確認する消火避難訓練を、消防署員立会いのもと実施しております。また、9月には利用者様向けに広域避難場所までの避難訓練を実施しております。	BCPについては、計画が事態に沿った計画に沿ったものになっているのかを訓練を重ねていく必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時に保護者様に確認し、すぐに職員全員が確認しやすい箇所に書面に残しております。昼食やクッキング、おやつの際に注意徹底しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	食事をするトレーニング前にはアレルギーを確認し、除去しております。	医師との連携はございません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			安全計画、計画が事態に沿った計画に沿ったものになっているのかを訓練を重ねていく必要がある。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		定期的に報告し、改善案を考えております。また、ヒヤリハット報告書を記載して、全スタッフに共有しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止委員会を設置しており、研修も定期的に行っております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		身体拘束をする際は、スタッフ間で協議をしこどもや保護者に十分に説明した後に行っております。		